

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年2月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104480
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム 唐湊の家
所在地	鹿児島県鹿児島市唐湊三丁目2番4号 (電話) 099-254-6066
自己評価作成日	平成31年1月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年1月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当グループホームは閑静な住宅街に立地しており、近くにはコンビニエンスストア・スーパー・歯科医院・美容院等があり恵まれた環境の中で生活しております。協力医療機関や訪問看護ステーションと連携が出来ており、健康面でも安心して暮らしております。ホーム内外の行事を多く計画し、年中行事で季節や節目を感じながら、楽しく暮らしていけるよう地域の方々やご家族と協力し支援しております。日々の生活の中で食事や家事・レクリエーションなど職員も一緒に楽しみながら暮らしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所はスーパーマーケットやコンビニ・タクシーが近隣にあり、店員等と顔馴染みになり、利用者への目配り等の協力も得ている。
- ・系列の協力医療機関及び法人内の訪問看護ステーションとの24時間の医療連携体制が整っている。かかりつけ医の協力のもと、家族の意向に沿って看取り介護にも取り組んでいる。
- ・地域の夏祭りやおはら祭りに参加したり資源回収に協力している。事業所の敬老会や新年会には地域住民の参加があり、避難訓練時に消防分団の協力もあるなど、地域住民との交流が普段から行われている。事業所の行事に太鼓演奏の高校生の参加がある。
- ・職員の質の向上の為に資格取得や研修受講を奨励し、法人として系列事業所職員間の交流の場を設けたり、就業環境の整備にも取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は朝礼にて唱和し、毎年振り返る機会を設け意識しケアを行うように努めている。買い物や行事などで地域との交流を行い顔見知りの関係性を築く努力をしている。	理念はパンフレットに掲載し、朝の申し送り時に唱和している。毎年1回、職員に理念についてのアンケートを実施し、意識付けをしている。年末にはケアを振り返る機会を設けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者と一緒に買物や散歩等に出かけ馴染みの関係性が出来るよう努めている。また事業所の行事へも地域の方や学生ボランティアに参加していただき、資源回収やおはら祭等地域の行事にも参加している。	地域行事への参加や近隣のスーパーマーケット等の利用で住民と顔なじみになっており、地域の見守りや協力がある。公民館で実施する事業所の新年会・敬老会には、地域の住民や踊り等のボランティアの参加がある等、地域との交流を積極的に行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	買物は入居者と一緒に行き、事業所の行事に地域の方に参加していただき一緒に楽しむことで認知症の理解を深めていただいている。避難訓練も分団の方と協同で行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方が参加する事により、事業所として貢献出来る事はないか等提案・意見交換を行い消防分団との合同訓練等を実施。又利用者の状況や活動報告・苦情相談・事故報告・評価の報告も行っている	2ヶ月に1回開催し、ヒヤリハットを含めた事業所の報告と意見交換を実施し、地域の情報を得る機会でもある。新しいボランティアとして地域のフラダンスグループの協力を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	年1回相談員の受け入れをしている。又入居待機者の報告・生活保護課への相談・報告、介護保険課への事故報告を行っている。いきいきポイント推進事業の受け入れや報告を行っている。	市に出向いて報告や相談を行う等、担当者との連携を図っており、生活保護担当者とも同様に協力関係を築いている。市の研修会に参加して、行政及び他の事業所との情報交換に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	隔月身体拘束について勉強会を行い、原則・弊害についても理解し身体拘束と思われるケアがないか確認・意見交換を行っている。日中は玄関は施錠せず、見守りを徹底し自由に入出りができ、各階も自由に交流できるなど支援している。	指針があり、2ヶ月に1回の委員会を実施し研修も2ヶ月に1回、具体的な事例を出して検討を行っている。不適切な言葉遣いは、気付いた時に注意している。日中のユニット間の行き来は自由であり、玄関の施錠はせず、職員の見守りと近隣の見守りで自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	隔月日々のケアの中で虐待について振り返る機会や他事業所などでの事例を確認したりして意見交換を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修へ参加し、内部研修にて全職員へ研修報告を行い理解を深めるようにしている。必要に応じてご家族にも提案し、成年後見制度を活用されている方もおられる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書や重要事項説明書は利用前に丁寧に説明した上で持ち帰って頂き、契約時に再度疑問・不明点を伺い、理解・納得した上で契約を交わしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者や家族とのコミュニケーションを大切に、要望や意見を引き出せるよう環境づくりに努めている。行事や運営推進会議の前等、家族同士や地域の方と話せる時間を設けている。意見箱の設置もしている。	利用者には、日常の会話や介護相談員からの意見を聞いている。家族には、運営推進会議や行事参加・面会時に要望等を聞き、家族からつなぎ服使用を提案されたが、身体拘束になるのでできないことを説明し理解を得た例がある。家族と話し合う時間を大事に対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送りやミーティング時等意見や提案を聴く時間を設け常に検討・意見交換を行なっている。又年1回の個々の反省や抱負なども参考にし運営に反映できるように努めている。	管理者は、申し送りや月1回のミーティング時に職員の提案等を聞いており、活発な意見交換ができています。定時に帰れないとの意見から業務の見直しを行い、業務改善に反映させている。個別相談は日頃から管理者が受けて対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	ミーティング時等困り事や業務内容について意見を聴くようにし、入居者の状況を踏まえた上で業務改善に努めている。希望の休みや研修費の支給など考慮している。資格手当の支給もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修への参加を支援し研修参加後は内部研修にて報告し全職員が共有できるようにしている。訪問看護師による定期的な研修も行っており、質疑応答などでその都度理解できるよう支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は同業者が集まる管理者会議に参加し、交流・意見交換を行っている。事業所の行事に他事業所を招き交流できる機会を設けている。また関連事業所合同の忘年会へも参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に自宅や施設に出向き直接お会いして話しをし、本人が置かれている状況や不安を受け止める努力をしている。又、ご家族には必ずホームに来ていただき、本人の好む事、嫌な事等の話を伺っている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>本人やご家族が置かれている状況や経緯を理解し家族が求めている事や不安を受け止め事業所の運営理念やサービスを実際に見ていただき信頼関係を築く努力をしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族の現況・思いを受け止め状況に応じて協力施設で待機して頂いたり、他のサービスを提案したり、早急な対応が必要と思われるときは他の事業所への紹介をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者に方言や昔からのならわし、食材の調理の仕方などを教えていただき感謝の言葉を伝えるようにしている。また家事や食事を一緒に楽しめる努力をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の生活や身体状況など面会時やお便り・電話等で定期的に報告を行うようにしている。また行事も一緒に参加していただき食事介助やお手伝いを頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間の制限をせず、いつでも誰でも気軽に立ち寄れる雰囲気作りに努めている。自宅まで郵便物を取りに同行したり、買い物や散歩をしながら外部の方とも関われる様支援している。	いつでも気軽に立ち寄り、リビングや居室でお茶を飲みながらゆっくりできるようにしている。家族と墓参りや法事・外食に行ったり、家族等からの年賀状や電話を取り次ぎ、家族や知人など馴染みの関わりが途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性を把握し状況に応じて席替えをしたり、会話の間に入って関係性が上手くいくように努めている。また家事作業や物作りなど利用者同士で協力しながら行なえる環境作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期療養のため入院となり退去された方のお見舞いに行ったりその後の生活の為の相談に応じたりしている。退去後にお亡くなりになられた時は最後のお別れに向いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族との面会時の会話・本人が日々のかかわりの中で発する言葉や表情、行動などを記録し意向や思いを受け止め全員で共有し、出来るだけ実現できるように努めている。	日常のケアの中で本人の思いを把握するように努めており、表情等から推測することもある。家族や介護相談員からの情報も参考にして、職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントシートを利用したり、ご家族や地域の方に話を聴いたり、本人の会話の中で生活環境や私歴を見つけ把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事や家事、レクリエーションなどを一緒に行い本人の表情や行動で現状を見極め、拡大・実践していく。またアセスメントシートや個別記録・身体状況表等によって現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティングで現況や問題点、ケアの方法等意見を出し合い介護計画の作成へつなげている。また面会時や電話での現況報告時には家族の要望を聞き本人も含め意見交換を行っている。また受診時主治医や訪問看護師の意見も聞いている。	面会時や電話で把握した家族の要望等を基に主治医の意見を参考にして、介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回実施し、6ヶ月毎及び状況変化時等に介護計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護サービス実施記録に日々の気づきや実践を記入し申し送りノートや申し送り・ミーティングで情報を共有している。また身体状況表や医療の記録も全職員が確認を行い訪問看護師にも確認いただき意見を聞いたりして状況把握に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診支援やドライブ、外食、外出など本人の希望やご家族の状況に応じて柔軟に対応している。入院となった場合の早期退院の支援、洗濯物等家族ができない部分を支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	担当分遣隊・郡元分団等避難訓練に参加していただいている。また事業所の行事を公民館で行い地域の方が参加されたり、地域の行事への参加を行い協働して支援出来るよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族の希望や状況に応じたかかりつけ医となっている。協力医の受診支援や状況に応じて協力医以外の受診についても支援しご家族への報告を行っている。訪問看護師の助言も頂きながらこまめな観察を行い病気の早期発見・早期治療に努めている	入所の時点で利用者や家族に希望を聞いてかかりつけ医を決めている。訪問診療や24時間の医療体制が整っている。職員で受診して家族に報告を行っている。医療機関と訪問看護との医療連携がスムーズに行われ緊急時の体制もできている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ホーム内の看護師資格を有する者を中心に入居者の健康管理を行っている。協力医の看護師や訪問看護師にもいつでも相談し、助言を受けられる関係作りが出来ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は本人の状況や支援方法等の情報を医療機関へ提供し面会等を小まめに行い本人の状態を確認したり、経過を主治医や家族と直接話をし速やかな退院支援につなげている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化対応に関する指針や看取り介護に関する指針を作成し、訪問看護ステーションや主治医と連携を図り、本人や家族の思いを大切にし、安心して最期が迎えられる様皆で協力し支援している。</p>	<p>入所の契約時に説明し同意を貰っている。指針やマニュアルがありそれに伴い終末期は早い段階から家族の思いが揺れ動くので確認を行いながら状況判断し適切な医療をめざし支援している。複数の看取り実績がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当や緊急時の初期対応が出来るようにマニュアルに添って研修を行い定期的に振り返り練習しながら実践力を付けている。急変時は協力医療機関のホットラインや医療連携体制契約している訪問看護ステーションと連携し支援している。</p>			
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>担当分遣隊や分団と協力し、年2回火災避難訓練を行っている。また、地震や水害等の避難訓練については、独自で行っている。緊急連絡網や持ち出し簿の作成、非常用の飲料水・備品の確保もしている。</p>	<p>火災避難訓練を年2回、消防署の立会で昼夜想定で行い地域の人や分団の隊員も参加して実施している。緊急時の持ち出し物の確認と災害対策器具の点検を定期的に業者に依頼している。非常用の備蓄は、水・米・缶詰・乾麺・カロリーメイト等の食料やカセットコンロを準備している。地域の民生委員や大学寮生の協力体制もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	倫理綱領や行動指針、プライバシー保護マニュアルに添って、勉強会を行っている。利用者を尊厳し近すぎず、遠過ぎない関係性を保てる声掛けや支援の工夫を行っている。また職員同士互いに言葉かけや対応を注意し合える環境作りに努めている。	毎年研修会を実施している。さん付けでの呼びかけを基本に対応し、入室は声かけ後に行うよう気をつけている。排泄介助時のさり気ない声かけや入浴の同性介助対応等、羞恥心に配慮をしている。利用者の居ない場所での申し送りやプライバシーの確保にも努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者と一緒に献立を考えたり、行事や外出、入浴の希望などゆっくり聞ける環境づくりに努め実現できるように支援している。また、お誕生日は希望の献立としている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床・就寝時間、昼食後の時間などは自由であり個々に経過しておられる。外出や買物・外食など出来るだけ対応できるように入浴日や日課は重視せず臨機応変に行なっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々に応じて美容院への送迎支援を行っている。使い慣れたシャンプーの購入支援や衣類などの購入や買物、コーディネートの声掛けや支援も必要に応じて行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の力量にあわせて買物・下ごしらえ・盛り付け・食器拭き等楽しみながら一緒に行っている。誕生日には本人の希望を聞き好みの物を提供し食事を楽しんでいただいている。嫌いな献立時は代替え献立にて提供している。	職員が献立を作成し、個々に応じた食事形態で提供し、代替品も準備している。職員と利用者が一緒に下ごしらえや盛り付け・片付けをしている。誕生日の好物や行事食の提供、そば打ちやそうめん流し、外食などで食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分の摂取状況を毎日記録し、不足分はジュースやゼリー、経口栄養剤・好物の提供などによって一定量を確保出来るように支援している。定期的な受診や体重測定、BMIの測定をし状態の確認を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。状況に応じて歯間ブラシなどを使用したり自立の方へは声掛けをし必要に応じ、再度チェックを行う等本人の力量に応じ支援している。必要時は受診支援をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	プランの見直し時や必要時、アセスメントシートにて排泄パターンを把握し、個々の時間に合わせた誘導や声掛けを行っている。全介助の方も日中はポータブルトイレを使用し気持ちよく排泄できるように支援している。	排泄パターンを把握し個々に合わせた時間誘導で、日中はトイレまたはポータブルトイレでの排泄を支援している。夜間はオムツや尿器等も使用し、本人に無理のないようにしている。オムツからリハビリパンツに改善した事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	身体状況表にて排便チェックを行い主治医と相談しながら服薬調整を行っている。又必要に応じて牛乳やジュース等で水分を補い摂取量の確保や野菜を多く摂取できる献立作りに努めている。ラジオ体操や歩行運動の声かけを行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日や時間を決めず入りたいと思うときに出来るだけ入れるように支援している。体調等状況を見ながら週4回以上入られる方もおられる。	週2～3回の入浴ができるように体調等を見ながら支援している。清拭やシャワー浴・足浴・同性介助・2人介助等を必要に応じて実施。入浴剤やゆず湯も楽しんでいる。入浴を嫌がる場合は、無理強いせずタイミングを見て対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床時間や就寝時間は決めず、自由に寝起きが出来るよう支援している。日中は適度な運動をし、必要に応じて眠剤を使用する等、快眠できるよう支援している。また自由に昼寝や居室でゆっくり過ごせるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療の記録で個々の状態を把握し内服薬ファイルにて、効能や副作用などを把握している。状態変化については受診時、主治医へ相談し処方の変更があった時は、状態の観察を行い主治医へ報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>掃除・盛り付け・茶碗拭き・洗濯物たたみ等個々の能力に応じてお手伝い頂き、感謝の言葉を伝えるようにしている。レクリエーション等は無理強いをせず好きなものに参加している。希望に応じて菓子・パンやジュースなどの購入も行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>買い物や散歩、散髪・外食・墓参り等出来るだけ希望に添えるように支援している。おはら祭りや夏祭り、敬老会・新年会等ご家族や地域の方と協力し楽しんで頂いている。</p>	<p>気持ち良く戸外で過ごせるようにその日の外出希望を聞いたり散歩や玄関前のベンチで外気浴をしている。年間計画で花見や木市・ミカン狩り・外食に出かけたり、地域行事にも参加している。個別の希望で買い物・外食にも行っている。墓参りなども家族の協力を得ている。できるだけ出かけられるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いはホームで管理を行っている。現在、自分で管理できる能力のあられる方がおられず、買い物と一緒に買いだめしたものを選び、自分で支払いが出来るよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望に応じて電話をかけたり、遠方のご家族や面会の少ないご家族には電話で話しができるように支援している。贈り物などのお礼はできるだけご本人にして頂いている。また届いた手紙への返事の支援も声掛けしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に季節の花を飾り、ゆっくり過ごせる空間作りに努めている。ホーム内の飾りつけを入居者と一緒に季節に合わせた物を作り飾りつけを行っている。また対面キッチンになっており、調理をする匂いを感じる事ができる。	季節感を感じ取ることができるように季節の花を栽培したり、室内の飾り付けにも工夫している。キッチンは対面式で見守りができる。全体的に明るい空間になっている。カーテンで日光を調節したり加湿器の使用で、過ごしやすい室内環境になっており、毎朝利用者も一緒に清掃し清潔な室内である。利用者はソファ等でゆっくりとくつろいでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビ室にソファを置いたり、玄関周りに椅子や縁台を置き個々にゆっくり過ごせるような環境づくりを行っている。リビングでの席も状態に応じ変え会話や家事を楽しめるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族や思い出の写真、パッチワーク等を飾られたりテレビや冷蔵庫・テーブル・椅子などを持ち込み心地よく過ごせる環境づくりを行い掃除や片付け等一緒にいき清潔に配慮している。</p>	<p>テレビや冷蔵庫・タンス等の家具を置いたり、家族の作品や写真・ぬいぐるみを身近に飾って本人が安心して過ごせるように配慮し、ベッドを除いて布団を敷いている利用者もいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレやお風呂場は目印やのれんをかけたり居室には表札を設置したりしてわかりやすくしている。身体の状態や体調にあわせベッドをかえたり、手すりを設置するなどして安全に行動できるようにしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない